

受験番号		氏名	
------	--	----	--

令和5年度 神戸大学工学部第3年次編入学試験

令和4年8月18日 実施

試験問題 「小論文（市民工学科）」

注意事項：

1. 試験中は、試験監督の指示に従うこと。
従わない場合は、不正行為と見なす場合があります。
2. 解答開始の合図があるまで、試験問題を開かないこと。
3. 「受験者心得」で持ち込みが認められたもの以外は、机の上に置かず、カバンの中にしまうこと。
4. 携帯電話・スマートフォン等の電子機器類を時計として使用することはできませんので、これらを持っている場合は、電源を切ってから、カバンの中にしまうこと。
5. カバンなどの持ち物は、椅子の下に置くこと。
6. 答えは、黒鉛筆またはシャープペンシルで解答すること。
7. 答えは、別紙の解答用紙に解答すること。（大問ごとに、解答用紙が分かれています）
8. 試験時間中に質問等がある場合は、手を挙げて試験監督に申し出ること。
9. 試験途中の退室は認めません。
ただし、トイレに行きたい場合や気分が悪くなった場合は、手を挙げて試験監督に申し出てください。
10. 解答開始の合図の後、まず、問題・解答・下書用紙全てに、受験番号、氏名を記入すること。
11. 配布した用紙（問題・解答・下書用紙）は、試験時間終了後にすべて回収します。持ち帰ることはできないので、注意すること。

2023年度工学部編入学試験問題 市民工学科

小論文問題

気候変動への対策として「緩和策」と「適応策」がある。これまで市民工学では激甚化する自然災害に備え、社会基盤を整備するなどの「適応策」を着実に進めてきた。安全で持続可能な社会を実現するためには、両対策を有効に進めて行く必要がある。今後、市民工学の観点からどのような「緩和策」を講じるべきかを1200字程度で論じなさい。